

# ほのぼの苑だより

題字：鎌田 豊三郎 様

## 第129回秋田県種苗交換会 主会場の天王総合体育館にて



五城目高校 文化祭

十一月七日に五城目高校で行われた「みんなの登校日」に行ってきました。近隣の施設の方達もたくさん参加していました。生徒会長の挨拶の後、三味線の演奏、吹奏楽、ピアノ、民謡などが披露されました。私たちは最前列で演奏会を聞き入っていました。どの演奏も素晴らしかったです。が、その中でも、生で聴く民謡は尺八と三味線、歌声との一体感は素晴らしく、感動しました。入苑者の方も終始笑顔で「今日、ここに来てよかった」と話されていました。

(斉藤 実矢子 記)



十一月誕生会

十一月二十六日、十一名の入苑者の方をお祝いしました。今日のこの日をずっと頭の中に入れておいてもらいたいという願いを込めて、来年のカレンダーを作りました。自分の写真を貼ったり、好きな言葉を入れたり、季節にあった風景の絵を貼ったりとそれぞれの思いをカレンダーに綴っていきました。小熊シェフの手作りケーキで完成を祝い、満足した顔で記念撮影を行いました。来年は、一ヶ月、一ヶ月このカレンダーをめくって、色々な時を刻んで欲しいと思います。

(澤木 桂子 記)





「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」  
 は、苑内での感動する話を紹介  
 するコーナーです。

ちよつとイイ話

十一月の業務日誌より

十一月三日（金）

今日の三時のおやつはヨーグルトゼリーとリンゴムースがけでした。皆さん最初は何だろうと見ていましたが、食べてみると美味しかったらしく、全員が完食されました。自宅では味わうことがない珍しいおやつを今後も楽しみに食べて欲しいと思いました。



十一月五日（日）

今日は外泊していた方々が、家族の方に送られて帰苑されました。帰ってくる人達の表情はとても明るく、「またお願いします。」と言われました。良い気分転換になったようで、とても良かったです。私たちも戻られた入苑者の方に良い介護ができるように改めて気を引き締めていきたいと思いました。

十一月九日（木）

入苑者の家族の方が入苑者を介助されていたので「私が介助しますよ。」と言うと「いいの、私が来ればいつもやっているから」と話されていました。毎日は母に関わる事が出来ないから来た時くらいは・・・という気持ちが伝わってきました。家族の方の気持ちも考えながら入苑者のサポートを行っていききたいと思えます。

十一月十二日（日）

今日、雨や風が強くて寒い一日となりましたが、入苑者の方と家族の方が接しているのを見て、暖かさというのを感じました。今後も暖かみのあるほのぼの苑であるためにも、家族会で意見のあった改善すべき点を修正して、利用される全ての方に良い環境であるよう努力していききたいと思えます。



十一月二十二日（水）

今日は久しぶりに面会に来られた入苑者の家族の方が入苑者に会われた際にとっても喜ばれ、涙を流していた姿を見ました。家族の方に「よく来たなあ」と声をかけていたのを見て、家族って素敵だなと思いました。

十一月三十日（木）

今日、仕事をしていて、一つ一つ、何をすることも、入苑者の方に「ありがとう」と声をかけてもらっている事に、改めて気付きました。私たちは何気なく行っている行為もその人の生活の一部なんだと強く感じました。



### 第八回 家族会 議事録

第七回 家族会は、十一月二十六日(日)午後二時より、食堂にて行われました。

先月に引き続き、ほのぼの苑だよりにて、毎月の質疑応答に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。今回の家族会は、平成十九年一月二十一日 午後二時から行います。

#### ◆質疑応答◆

Q お風呂が中止の期間どのような対応をとっていますか。

A 定期的な清拭と着替えで対応しております。

Q 本人に感染の症状が無ければ、洗濯を家族のものと一緒にしても良いのですか。

A 感染性胃腸炎は、発症まで二日間ほどかかる場合もあり、その時点で感染しているかどうか判断出来ませんので、分けて洗濯をした方が良いでしょう。

Q 家族が持ってきた食べ物を食べさせても良いのですか。

A 生ものでなければ構いません。

Q 意識障害のある方が胃腸炎の症状が出た場合、どのような対応を行っていますか。

A 対処は同様であり、脱水予防のため点滴等を行います。一番心配なのは、吐物による誤嚥性肺炎です。定期的に体位交換を行い、側臥位で誤嚥がないように努めています。

Q 床清掃は、どのように行っていますか。また、ステーション3の中廊下が汚れているので清掃して欲しい。

A 施設内の清掃を専門に勤務している保守が居ります。中廊下は、十二月中に対処致します。

Q 褥瘡に対してどのような対策を行っていますか。

A 褥瘡を予防するため、栄養を摂る、体位交換を二時間以内に一回・エアーマットを使用するなどの対策を行っています。また、既に褥瘡のある方には、ラップ療法や泡洗浄など、入苑者の方それぞれにあった治療法で対応しており、どの入苑者も良くなっております。

Q 水枕が熱くなっている。

A ほのぼの苑では、一日に四〜六回程度の検温をしており、その都度、水枕を使用している方の水枕は変えております。今後、そのような事が無いよう対応して参ります。

Q 感染性胃腸炎に感染した方の食事はどのようになっていますか。

A 食事形態は、基本的に変更はありません。感染性胃腸炎に限らず、必要であれば職員で相談し、食事形態の変更を行っております。



### 幸福

日々慌ただしく始まる私の一日の生活。そしてあっという間に終わってしまう一日。いつまで続くのやら.....  
でも、その一日の終わりの五分、十分でもボーっとする時間が、今の私にとっては一番の幸福です。その時間があるからこそ、毎日元気に働けるのかもしれない。

この時期になると、昔、県外に住んでいた頃に周りの人がハタハタは鱗のない魚で気持ち悪いと良く言われていたのを思い出します。

しかし、ハタハタが好きな私は、毎年実家の母に、「ハタハタが食べたいなあ。」と、電話でおねだりをします。すると父が今回は男鹿まで買いに行ってくれたようで、「ブリコがいっぱい入ったのを買ったよ。」と携帯電話に連絡をくれました。まだ取りに行っていないので実家の冷凍庫の中に保管中です。

早く取りに行く時間を見つけ、また三ヶ月ぶりに会う両親に親孝行するのも私の幸福の一時です。いつまでも元氣な両親でいて欲しいと思います。

### ほのぼの掲示板

#### お正月期間外泊のご案内

お正月に外泊を希望される方は、お薬やお車での送迎の準備がございまして、お早めにお知らせ下さい。

#### 面会者の方へお願い

インフルエンザ・感染症流行の時期となっております。入苑者への感染防止のため、風邪・発熱・嘔吐の症状がある方は面会をご遠慮下さいませ。また、ご協力お願い致します。また、症状の無い方も手指消毒にご協力お願い致します。

### 編集後記

平成十八年最後のほのぼの苑だよりとなりました。今年には私自身、介護老人保健施設 熊本県大会や秋田県医療学術交流会での発表と続きましたが、全国の介護老人保健施設や秋田県の医療従事者の方に、ほのぼの苑を知っていただく良い機会と思いい、発表を行って来ました。今後も良い成果が発揮されるよう頑張っております。(カ)

発行

医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央